

2022年2月1日

報道関係各位

日本学生アメリカンフットボール協会
理事長 伊角 富三

全日本大学アメリカンフットボール選手権の新方式について

日本学生アメリカンフットボール協会は1月29日の理事会で、全日本大学アメリカンフットボール選手権の大会方式を下記の通り変更することを決定しました。従来の「東日本」、「西日本」という枠組みを取り外し、全国8つの学生連盟から代表1校ずつの計8校が本大会に出場してトーナメントで争うもので、まず2022、23年の2年間実施します。24年以降については新方式を継続するか、別方式に変更するか、継続して検討することとしました。

当協会では本選手権に関する検討を2019年から本格的に行い、「全日本大学選手権ワーキンググループ」（座長：廣田慶副理事長）を立ち上げて、「学生アメフトの『安全』を最優先とすること」、「『ファン目線』と『競技者目線』を意識した枠組みとすること」を念頭に議論を重ねてきました。今回の方式変更に限らず、少子化の流れの中で、どのように各地区で競技を発展させていくか、引き続いての課題として取り組んでいきます。

記

◆2022年からの全日本大学選手権の方式

1. 全国8学連から各1校が出場する。2022年のトーナメント表は別紙の通り
2. まず2年実施する。3年目（2024年）以降も継続するか、別方式に変更するかは新方式を実施しながら検討していく
3. 1回戦勝者が2回戦に勝利した場合でも、準決勝の開催地と日程は変更しない
4. 勝ち上がり地区が翌年度の当該ラウンド開催権を持つ（例：1回戦勝利地区は翌年の1回戦の開催権を持つ）。ただし、準決勝は関東、関西以外での開催とする
5. 2回戦、準決勝においては、下のラウンドから勝ち上がってきたチームが勝利した場合、翌年度は勝利チームの所属する地区が、敗北したチームの所属する地区とトーナメント表の場所を入れ替わる（以下「勝ち上がり、負け下がり」という）。この場合、トーナメント表の左右の入れ替えは行わない
6. 「勝ち上がり、負け下がり」が発生しなかった場合、翌年度は2回戦のシード地区（2022年は東海と九州）がトーナメント表の場所を入れ替える

以上

お問い合わせ先：一般社団法人 関西学生アメリカンフットボール連盟 事務局 TEL(078)802-5790

【別紙】 2022 年のトーナメント表

